

平塚市制90周年記念SDGs自分ごと化プロジェクト

完全オリジナルで動画制作

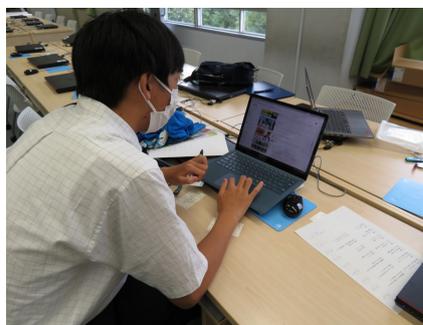


大瀧 睦(おおたき むつみ)
神奈川県立平塚中等教育学校 1年

平塚市制90周年記念SDGs自分ごと化プロジェクト

完全オリジナルで動画制作

大瀧 陸



活動概要

活動の内容

平塚市より、「平塚市制90周年記念SDGs自分ごと化プロジェクト」と題した動画制作を依頼され、自分たちでどのように進めるかを話し合った。SDGsに関連した市内の10の企業を話し合ってから決めて、実際に取材し行き、インタビュー映像と活動風景を撮影した。その後、試行錯誤を重ねて動画編集をし、文化祭や市民センター祭りで展示した。

活動の特徴(新規性・発展性)

企画、取材、撮影、動画編集、BGM制作まですべて自分たちで行った。10の企業すべての取り組み内容で、SDGsの17のゴールをすべて網羅できるように企業を選択をした。平塚市役所職員や学校教員からではなく、自分たちで主体性を持ってプロジェクトを全て成し遂げることができた。

活動の成果

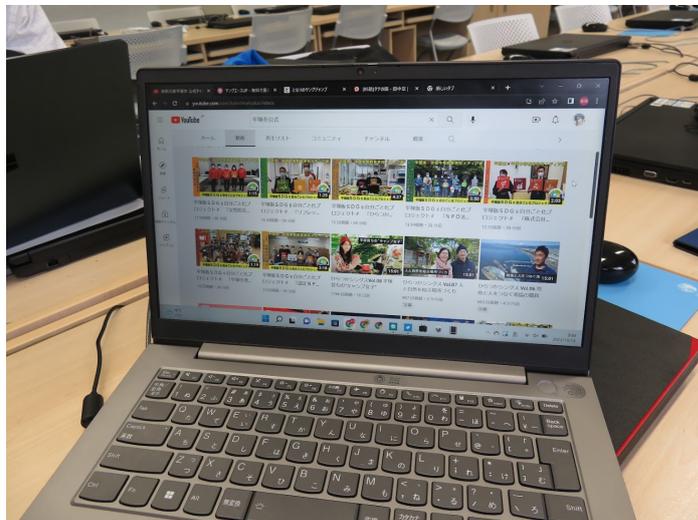
自分たちの地域の企業を、地域の人にも知ってもらうとともに、SDGsの役割や内容、重要性を伝えることができたと思う。この動画を通して、地域全体でのつながりの意識や、SDGsに対する意識が芽生えたら良いと思う。

課題の設定と意図

地域の中に素晴らしい取り組みをしている団体や企業が多くあるが、それがあまり知られていないという現状があった。自分たちも同じ地域に住んでいながら、平塚市内の企業を全然知らなかったの、他の人たちも同じような状況なのだろうと思い、この課題を選んだ。

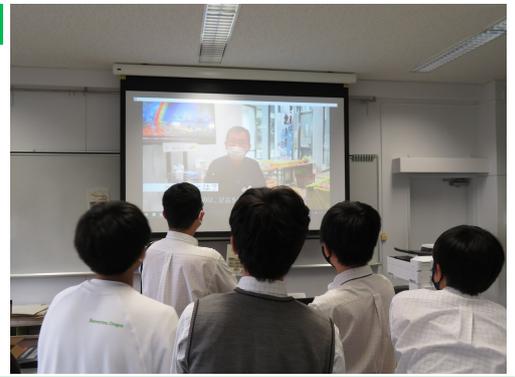
課題解決のための仮説と計画

平塚市から提案された「SDGs自分ごと化プロジェクト」と併せて、それに関連した企業を紹介する形で動画を制作し、地域の多くの人が見えるところで放映すれば、団体や企業があまり知られていないという現状を少しでも解決できるのではないかと思った。平塚市の企画制作課の方と話し合いを進める中で、どのようにすればより多くの人に動画を見られるかという話になった。現代のSNS利用者はあまり長い動画は見ようとせず、短い動画を何本も見るといった傾向があると思ったので、2分程度の動画を10本制作するのがいいのではないかという結論に至った。また、平塚市公式Twitterなどのメディアで定期的に宣伝し、より多くの人に見てもらえるようお願いをすることにした。そして、本校の文化祭である翠星祭文化部門において作品として展示したり、地元の人が多く集まる平塚市民センター祭りにて放映したりして、課題解決に根本的につながる「拡散」の方法を念入りに工夫した。文化祭のパンフレットにもQRコードを掲載してもらうことにした。



活動で工夫できたこと

実践活動のメンバーは全員、平塚中等教育学校メディア部に所属しており、パソコンの操作は一通り慣れている状態であった。その技術を生かして、メンバーで協力して動画編集を自分たちの力でやった。また、私は趣味で作曲をしているので、動画のBGM制作も全部自分でやった。各個人の持っているスキルを最大限活かし、立てた課題解決のためにできることを全員で話し合いながらプロジェクトを進めることができよかった。また、オリエンテーション合宿の「時之栖」さんの活動を通して学んだ、魅力発信のしかたやポイントをそのまま企業・団体の魅力を伝えることに生かすことができた。実際に現場に向いて自分たちが思ったことがあると、どのような動画を作るのがふさわしいのかが自然と見えてくるような気がして非常に参考になった。



活動で得た学び・気づき

オリエンテーション合宿において「時之栖」さんに訪問して、自分たちの地元の自然や企業を地元の魅力を伝える方法やポイントを教えてもらい、実際に自分たちも時の栖の魅力や提案をプレゼンする活動を行った。この魅力発信の力は、私たちの実践活動での取り組みに絶対に必要になってくるので、しっかり学んだ。実践活動では、自分たちが表立って行動する力を身に着けることができた。平塚市職員や学校教諭に言われたことをやるのではなく、自分たちの力で企画から撮影編集までを遂行したので、その技術と、メンバーと協力してプロジェクトを完成させる楽しさを学ぶことができた。また、たくさん企業の、団体の大人の方々に取材し、多くのお話を聞かせていただいたり、逆に、平塚市広報誌、読売新聞、湘南ケーブルネットワークから取材を受けるなかで、取材する側だった時には気づかなかった取材のテクニックや話し方を学ぶことができた。市内の10の団体は、フードバンク企業、自然保護活動団体から、女性・高齢者の活躍できる企業、こども園まで、多岐にわたるジャンルの企業で、それぞれで活動内容も全然異なっているので、各企業ごとに新しい発見や魅力を得ることができた。この活動を通して本当に多くの大人の方々にかかわって、社会での人とのつながり、かわり方を人生の中で一番身近に学ぶことができた。このような経験は学校の中では絶対に得られないものであって、自分たちが主体性を持って多種多様なジャンルの企業に訪問したからこそ得られたものだと思う。

今後の展望・新たな取り組み

自分の将来像はまだ具体的には決まっていないが、今回の経験を通して、社会が少し見えたような気がした。今回の経験で得たアドバンテージを生かして、さらに発展させた活動に取り組みたいと思う。特に今回行ったような、いろいろな場所に向いて、それぞれの場所で違う発見を得ること、これは動画制作でなくてもこれから先必要な力になってくると思う。現場に向いて行動力と、自分たちで遂行するという主体性を持って、現地に自分の目で触れることは、どんなリサーチよりも説得力と信憑性、そして熱が違ってくると感じた。社会に出た時もこの考えを大切に、何かを変えたいと思ったときに行動したいと思う。

1. 地域探究アワードエントリー情報

エントリー希望	有	エントリー単位	グループ	ブロック	関東・甲信越
グループメンバー	氏名①	大瀧 陸		氏名③	重永 桂吾
	氏名②	金城 圭悟		氏名④	

2. オリエンテーション合宿及び実践活動の基本情報

合宿実施先	国立中央青少年交流の家		修了日	2021/7/18	カリキュラムのタイプ	A
フィールドワークの内容	SDGsに関連した平塚市内の10の企業を訪問取材し、それぞれの企業の活動内容や活動風景、魅力を、企業へのインタビュー映像を軸にしてアピールする動画を制作した。					
実践活動期間	2021/7/22 ~ 2021/11/27					
活動のタイプ	新たな活動					
協力者	主な協力者			協力内容		
	所属	平塚YouTuber		動画制作の助言		
	氏名	しん				
	所属	平塚市企画制作課		動画制作の運営補助		
	氏名	秋山修一				
	所属	平塚市企画制作課		動画制作の運営補助		
氏名	高橋求					
協力者総数	3名					

3. 実践活動の記録

(1)総活動日数 全 37 日

事前:準備・打合せ	2日	本番:メインの活動	32日	事後:ふりかえり・報告	3日
-----------	----	-----------	-----	-------------	----

(2)活動成果の発信等

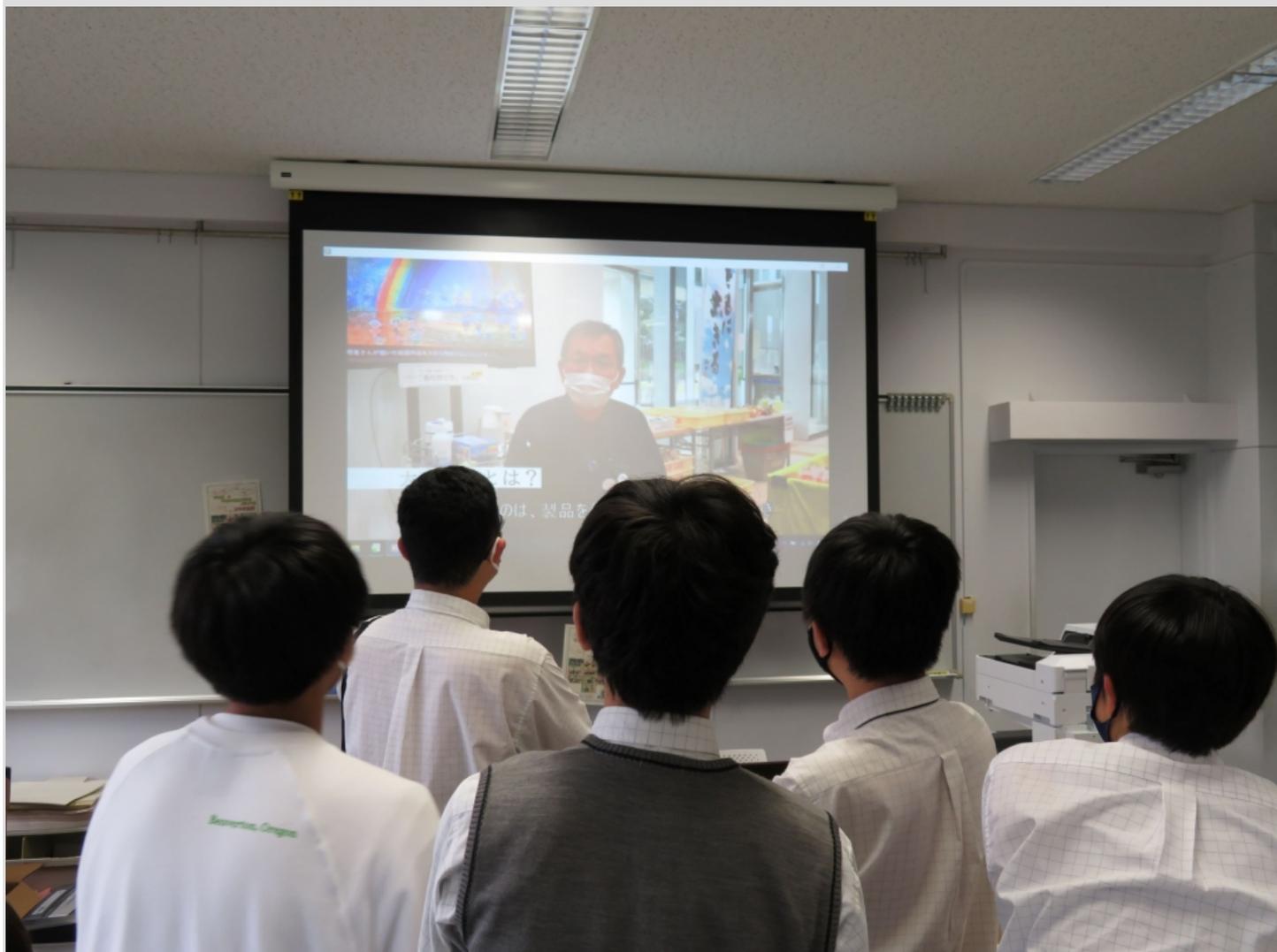
媒体	方法	回数	概要・備考
その他	自ら発信	2回	文化祭、平塚市民センター祭りにて動画を放映した。
新聞	取材された	2回	読売新聞、平塚広報誌から取材を受け、記事にしていた。
テレビ	取材された	1回	湘南ケーブルネットワークからインタビューを受け、放映していただいた。

(3)主な活動記録

活動日時	区分	活動場所	活動内容
7/28 ~ 9/22	①事前学習・打合せ等	平塚中等教育学校	平塚市職員の方、平塚市YouTuberの方に、動画制作のポイントを聞いた。
7/22 ~ 10/14	②実践活動本番	平塚中等教育学校	インタビュー映像や活動風景を収録した動画を素材に、PR動画を制作した。
10/14 ~ 11/27	③事後打合せ・報告会等	平塚中等教育学校・平塚市民活動センター	制作した動画を展示した。また、外部からの取材を受けた。

平塚市制90周年記念SDGs自分ごと化プロジェクト

完全オリジナルで動画制作



金城圭悟(きんじょう けいご)
神奈川県立平塚中等教育学校 1年

平塚市制90周年記念SDGs自分ごと化プロジェクト

完全オリジナルで動画制作



金城圭悟

活動概要

活動の内容

合宿を通して7月下旬から10月中旬にかけて平塚市内で活動している団体や企業にSDGsをテーマとした動画を部活内で制作、市内の様々な場所で動画を放映し、PR活動を行った。様々な場所で放映して、地域の人々に地域の知らない新たな魅力を発信することができた。また平塚市制90周年を記念した動画を制作することができた。

活動の特徴(新規性・発展性)

特徴は企画立案から動画制作まですべて自分たちで行ったところで、多くの大人たちの力を借りながら最後までやりとげました。また、YouTubeで動画を公開することで市外の人々にも見ることができるようにした。

活動の成果

SDGsを通じて平塚市内にある団体や企業を市内外問わず様々な人々に地域の中にある新たな魅力を知ってもらえたこと。魅力を知ってもらうことで地域全体のSDGsへの意識をあげることができたり、平塚市の魅力を市外の人々が平塚市に興味を持ってもらえたりすることができたと思う。

課題の設定と意図

私自身が15年間以上、この地域に住んでいたり、学校に通っていたりするなかで素晴らしい活動を行っている団体、企業についてほとんど知らなかったという現状があった。そのため、そのことを多くの方々に知っていただき、地域に活動の輪を広めることを課題に設定した。また、平塚市市政90周年ということもあり、それを記念した動画を制作することを目的とした。

課題解決のための仮説と計画

私達は、まずは地域の方々に知ってもらうことが第一歩と考えた。つまり、情報を発信して、活動を広めることができるのではないかと考えた。そこから、学校内で催される文化祭や地域で行われる祭りで動画を放映してもらったり、Youtubeで動画を配信したりすることで地域の方々や、地域に興味を持っている方々に知ってもらうことができるのではないかと考えた。そのために市の職員や平塚市のYoutuberに協力をさせていただき動画を制作し、様々な場所で動画を配信を行う計画を立てた。



活動で工夫できたこと

企画立案から私達自身で行っているため、自分たちの知恵を出し合って行った。例えば、大瀧くんはBGMを作成することができ、オリジナルBGMを作り動画内に組み込むことをした。また、動画単体を短時間にするだけでクリックしやすくなる工夫を行った。合宿内でPDCAサイクルについて学び、実践をする中で課題が発生したときに、しっかりと回すことができた。



活動で得た学び・気づき

自分たちの身の回りにも様々な素晴らしい団体や企業が多く存在していることにとても驚いた。そして、自分たちも案外活動をしてみると多くの大人たちの協力も得ながら、このように活動に取り組むことができると知ることができた。また、自分たちでPDCAサイクルを回して自分たちの頭の中で考え、計画し、実践し、また練り直すという行動一つ一つが社会に貢献する一歩になることができると学ぶことができた。

今後の展望・新たな取組み

私自身、最初はこの活動についてあまり乗り気ではなかった。それはなぜかというこのような活動をしたことがあまりなかったということもあるが第一にこのような活動で社会を変えられることができるのか不信に思っていたからだ。だが、オリエンテーション合宿を通じて、こんなにも熱心に自分の地域のことについて考えている高校生たちが多くいることにびっくりした。それに感化され自分自身も住んでいる「平塚市」という地域をもう一度見つめてみようという気になった。合宿の内容としては、フィールドワークを通じて企業が地域にどのように貢献しているのかを学ぶことができ、確かに資本の力もあるだろうが、それ以上に企業の熱意が地域を変えることができるという事実にとっても驚き、地域は熱意で変えられるという事実もまた、私を後押ししてくれた要因だろう。そして実践することになり、平塚市内に自分たちの知らない魅力があることを知り、これを地域の方々に発信することが地域貢献になると思い、合宿でも学んだPDCAサイクルを回して動画を制作して、地域に対して貢献することができた。そして、この活動をした結果、最初の私とは全く違う自分がそこに立っていた。私はこの体験を踏まえて、地域の中にある課題や魅力を社会に発信することが重要だと考える。特に地域内の問題を解決するためには熱意をもって挑んでいくことが大切だと思う。そして、地域だけでなく国においても熱意をもって課題に取り組んでいこうと思う。

1. 地域探究アワードエントリー情報

エントリー希望	有	エントリー単位	グループ	ブロック	関東・甲信越
グループメンバー	氏名①	大瀧陸		氏名③	
	氏名②			氏名④	

2. オリエンテーション合宿及び実践活動の基本情報

合宿実施先	国立中央青少年交流の家		修了日	2022/7/18	カリキュラムのタイプ	A
フィールドワークの内容	御殿場市内にあるホテル「時之栖」に行き、企業による地域貢献の仕方や企業戦略、企画や広報の仕方について学び、そして地域貢献のための案を考察しプレゼンテーションを行った。					
実践活動期間	2022/7/22 ~ 2022/11/27					
活動のタイプ	新たな活動					
協力者	主な協力者			協力内容		
	所属	平塚YouTuber		動画制作の助言		
	氏名	しん				
	所属	平塚市企画制作課		動画制作の運営補助		
	氏名	秋山修一				
	所属	平塚市企画制作課		動画制作の運営補助		
氏名	高橋求					
協力者総数	3名					

3. 実践活動の記録

(1)総活動日数 全 37 日

事前:準備・打合せ	2日	本番:メインの活動	32日	事後:ふりかえり・報告	3日
-----------	----	-----------	-----	-------------	----

(2)活動成果の発信等

媒体	方法	回数	概要・備考
その他	自ら発信	2回	文化祭、平塚市民センター祭りにて動画を放映した。
新聞	取材された	2回	読売新聞、平塚広報誌からの取材を受け、記事にいただいた。
テレビ	取材された	1回	湘南ケーブルネットワークから取材を受け、放映していただいた。

(3)主な活動記録

活動日時	区分	活動場所	活動内容
7/22 ~ 10/14	②実践活動本番	平塚中等教育学校	インタビュー映像や活動風景を収録した動画を素材に、PR動画を制作した。
10/14 ~ 11/27	③事後打合せ・報告会等	平塚中等教育学校・平塚市民センター	制作した動画を展示した。また、外部からの取材を受けた。